

第6回認知症懇話会 in鶴岡ニュース

第6号 2014.12.9 山形県実行委員会

ありがとうございました!!

◎参加総勢…313名

◇県外から149人、県内164人の参加(要員も含め)

◇演題発表は、78演題

大会当日は…

1日目

- 特別講演『認知症高齢者のEnd of Lifeを考える～認知症高齢者を主体としたケア～』
講師；桑田 美代子 氏（慶成会青梅慶友病院 看護介護開発室長）
“老い”は私達全員が向かって生きていることで、決して他人事ではなく、『自分ならどうしてほしいか』・『して欲しいケア』について考えることができました。
- 分散会では、各事業所で『認知症』への取り組みが全部で78演題の報告が聞かれ、目・耳で民医連の活動を感じることができました。
- 交流会では、鶴岡市の天神祭で『化け物』と呼ばれる衣装に扮した5名の登場や、参加者全員による花笠音頭等、様々な県連と交流できたひと時でした。

2日目

- 特別講演『ふらて会グループの理念・戦力と実践～生涯にわたる健康の支援とまちづくり～』
講師；西野 憲史 氏（医療法人ふらて会理事長 西野病院院長）
脳血流の改善と意欲づくりの方法から、アクティビティー活動・五感機能の活性化など、日々の関わり方の重要性を学ぶことができました。
- シンポジウムでは、
 - ◇ 山田智全日本民医連副会長から現在の情勢やそれにかかる課題
 - ◇ シンポジストとして参加して頂いた3名の方から
 - ☆ 認知症の人と家族の会本部副代表理事の勝田登志子先生から、
 - ・ 介護保険改悪反対・社会保障を解体させない取り組みを様々な団体と共同して取り組んでいくことの重要性を熱く答弁して頂きました
 - ☆ 庄内医療生協組織部長の高橋聰氏から、
 - ・ 庄内医療生協の組合員の活動を中心とした鶴岡市の状況について報告して頂きました
 - ☆ 庄内医療生協理事である佐藤安太郎氏から、
 - ・ その組合員の活動の内容・たまり場『ちよさんの家』をより詳しく報告して頂きました

大会を通して…

『認知症』の学習や、各事業所での『認知症』への取り組みなど、多くの事を学ぶことができました。その中でも、シンポジウムでの出来事…山田智全日本民医連副会長が、話の途中涙ぐむという場面、そうした姿や、認知症を地域で支えている報告、会場全体の雰囲気が、民医連の活動・地域での関わり・重要性を参加者一人ひとりが感じることができた大会でした。

来年は神奈川で開催されます。また、多くの方々と『認知症』について懇話し、交流しましょう！！

